



# 幼稚園の新しい教師

東京都保育會幹事長  
東京都港區南山幼稚園長

小林操

新しい先生の在りかたについて、とやかく言うことは私の任ではないことをよく知つてゐる。まして幼稚園や保育所の先生方について書くことは尙更その任でないことをはつきり知つてゐる。併しながら私には、私なりの自己反省があり、自己反省から歸納した、今の時代における先生が如何に在るべきか、如何に在らねばならないかという一應の目やすを持つてゐる。それは大學の先生でも、小學校の先生でも、幼稚園や保育所の先生でも、いやしくも子供の指導に直接携わるものには一貫した心構の必要であることはいうまでもないが、こゝでは幼稚園保育所の新しい先生が如何に在り如何に在らねばならぬかという課題を旨めて、日頃私の直面した現實の中から書きとどめたメモを披萃して見よう。

(1)

「幼児の教育」には、既に倉橋先生を始め、その他の多くの先生方によつて、新しい時代の教師の在り方については、毎號私たちは指導を受けてゐる。殊に倉橋先生の新教師論（私

が勝手にそう呼んだ名前である）は、教師論と銘を打たないまことに滋味たつぶりの新教師論であると、私は毎號を楽しんで再讀してゐる。同じ本誌に私の拙いメモを書きつらねることはまことにおもはゆく思う。が、しばらく我慢して、一行でも一句でも共鳴していたゞける個所がありとすれば私の望外の喜びである。

こゝ數年來アメリカから來た教育指導者たちは、教育の問題を説けば必ず教師の問題にふれ、現職教育の必要を力説してゐるので、アメリカで考えられている望ましい教師としての素養については既に御承知のことゝ思うが、教育者に望まれる素養の根本要目は、國によつてそんなに違ふべき筈のものではない。アメリカのクラムビー女史は、保育者に必要な素養として、次に示すような極めて具體的な十二項目を擧げている。これを見れば幼児教育に當る教師の素養として必要なものは殆ど網羅されてゐると思われるので、話を進める手がかりに列記して見よう。

- 1 強い忍耐力を持つてゐること
  - 2 樂天主義者であること
  - 3 快活な素質をもつてゐること
  - 4 幼児の心理を理解することのできる能力をもつてゐること——兒童心理學の修養を積んでゐること
  - 5 子供に對する深い愛情をもつてゐること
  - 6 言語教育についての知識と技術とをもつてゐること——子供に模範を示すことのできる能力をもつてゐること
  - 7 單純な答へにも眞理を示すことのできる豊富な知識をもつてゐること
  - 8 身だしなみがよくて、明るい感じの服裝をしてゐること
  - 9 豊富な童話や童謡を知つてゐること
  - 10 手技に熟達してゐること
  - 11 音楽にたん能であること
  - 12 健康であること——子供に必要な保健の助手になること
- こゝにあげられた十二の項目について、何れも十二分に充たされるということは容易ではない。容易でないどころか殆ど困難であるかも知れないが、しかし私たちは一步一步これに近づきやがてはこれに到達する氣持を持ちつづける所にいわゆる現職教育の實踐があり、日々に新しい教師たり得るのである。
- 教師の性格なり、素養なりを考へる場合には、小學校であらうと幼稚園であらうと、或は又大學であらうと、對兒童、

對幼兒、對學生の問題として考へて見ることも必要である。やがてそれは私たち自身の最も具體的な反省の資料となる。幼兒には幼兒なりの、兒童には兒童なりの、それぞれ子供の立場から教師に對する要求があつて、それはいづれの段階の子供にも共通ないくつかの項目を考へることが出来る。教師はかくあらねばならぬと、教師自身や大人の側からのみの要求を充たすだけではまだ十分ではない。一體子供は教師に何を求めているかを知つてそこからもわれわれ自身の在り方を考へなくてはならない。子供が教師に望むものの主なものとして次の諸項をあげることが出来る。

- 1 愛情が豊かで優しく、いつもにこにこしてゐる先生
  - 2 明朗快活で、ユーモアに富んでゐる先生
  - 3 親切で公平な先生
  - 4 勤勉で誠實な先生
  - 5 自由のうちにも規律節制を守る先生
  - 6 寛大のうちにも權威を持つ先生
  - 7 熱心に行届いた指導を行う先生
  - 8 子供が好きで、子供を愛し、よく理解してゐる先生
  - 9 品があり、言語態度の洗練された先生
  - 10 子供と一體になつてよく助力し得る先生
- 教師に對する子供の調査によればもつと多くの項目が出て來るが、以上の十項目で殆ど盡されてゐると見てよ。

(2)

子供の個性は個々多様であつてそれぞれの方向に發展して行く。この種々様々の個性を完全に助成發達させることが本來の任務である。従つて多數の個性を同時に指導するためには、まず多數の個性を十分に理解することが、すべての保育活動の基礎になる。多數の個性をそれぞれ理解することはなかなか容易ではないが、これにできるだけの努力を注がなくてはならない。そのためには、教師の性格は何よりも圓滿であり、子供に接してはいかなる場合でも一視同仁であり、公平無視でなくてはならない。さらにそのためには、常に子供と一體になり、或は一體になり得る性格であることが、すべての性格に先行する最大のものである。子供の嫌いな、子供に對しておこりつばい教師、神系質で憂うつな表情をしている教師、がんで親しみにくい教師等は決して、子供に好かれない。こうした教師は子供にとつて大きな迷惑な教師である。

子供が望む教師の性格について考えて見たが、それだけで新しい教師の在り方を決定することはできない。その他にいろいろの要素が加えられねばならない。勿論前記の諸項目と重複する點もあるが、一應次のような事項について考察して見よう。

#### 1 人格のすぐれている先生

教師の子供に及ぼす影響がその人格の如何にあることは今更いうまでもない。教育は教師の人格の力によつて遂行せられない限り殆ど無力であるとさえ極言できる。

#### 2 健康であること

健康はあらゆる人間活動の根源である。子供は一生のうち最も活動的な時機であるだけに、子供と一體的な生活指導を自ずと教師が旺盛な元氣をもつて、生き生きとした態度で子供に接しなくてはならない。單に病氣をしないというだけではいけない。學習にも運動にも子供と一體になつて活動し得る活力をもつ健康體でなくてはならない。

#### 3 識見をもつ先生

從來の私たちに、最も缺けていたものはこの識見であつた幼稚園なり保育所が社會から個立して運營され得た頃は、小さな數にとじこもつていても事はすんだかもしれないが、今日私たちが考えているように社會との關連性を重視してくれば特に新しい時代の教師が、廣い識見をもたなくては困る。政治も、經濟も、文化もすべてが重要な子供たちの環境をなす要素なのである。

#### 4 經驗の深い先生

理論と知識だけでは生きた子供の指導はできない。教育は理論ではなく實踐である。多種多様の個性をもつ子供たちについて、教育の實踐に當つて、具體的な經驗を生かして常に新しい計畫をたて、それを遂行しなくてはならない。

#### 5 實踐力のある先生

從來ともすれば教育の理論と實踐とがうまく溶け合わなかつたらみがあつた。理論は高級なもので實踐はつまらぬものなどという考え方があるとすれば大きな間違ひである。

實踐を通しての理論であり、理論を實踐に移して見て始めて動かぬものとなるのである。

### 6 趣味をもつ先生

たゞ趣味といつても範圍は漠としており、はつきりしないかも知れないが、競技や運動をも含めて、趣味の豊かなことが望ましい。子供たちは多種多様な個性をもつているのと同様、それ／＼の趣味をもつているので、これを指導するにはまず教師が、できるだけ廣く深い趣味をもつことが必要である。

### 7 家庭生活の健全に行われている先生

人格のすぐれた教師の項に包含される事柄かもしれないが特に家庭生活が健全で圓滿に行われていて、よき夫、よき妻、よき兄であり、よき姉であることが、教師として大切な要素である。

以上私は新しい教師としての一般的性格や素養の項目を擧げるのにあまり多くの紙面を費し過ぎたが、幼稚園や保育所の新しい先生も、この基本的條項には變りない。この基本線の上に立つて具體的な面を考察して見よう。

### (3)

私は平素幼稚園保育所の先生方が、全く自己を忘れての献身的な熱意に對して、お世辭でなく心の底から敬意を表す。それでいてこれから申し述べようとすする事柄には、時に暴言、不遜と感じ取られる點があるかもしれないが、その點

は幼児教育の重要性に思いを致されて寛恕願いたう。

### 幼児教育の現状に立つての自己反省

日本における幼児教育は、相當永い歴史をもつていながらその發達は、まことに遅々たるもので、戦前までは、何か一種の特種教育であるかのような觀方が社會一般の通念かと思われる程、限定された狭い考えかたであつたために、その進歩發達は勢い制約せられて來た。戦後幼稚園、保育所の再開に伴つて、幼児教育の問題が取上げられ、幼稚園においては學校教育法に學校としての法的根據が明示せられ、保育所に於ては兒童福祉法に幼児保育の規定が明かにせられ、こゝに新しい幼児教育の方向が基礎付られたことは御承知の通りである。従つて幼児教育の重要性は一般社會にも多少づつなりとも認識せられる方向に進んでいる。そこで幼児教育に携わつていいる私達は一體これいゝのかとお互が厳しく内省して見なくてはならない現實に直面している。すでに内省に立脚して新しい教師として立派に出發している數多くの同志もしてはいるが、若しも安易な氣持で、自己の教養の現狀に安住して戦前と大して變らない毎日を送つていいるものがあるとするれば、今日の保育の担当者としては不適格者であり、幼児に對しては恥ずべき教師であるといわなくてはならない。これは私のいう新らしい教師に對しては正に舊い教師であつて、厳しい自己反省によつて再出發をするか、それが出來なければ止めるより仕方がないであらう。

戦後教育が再検討せられて教育の民主化を目ざした研究と實踐が全國の教師によつて、教育關係者によつて推進せられるようになったとき、「幼稚園や保育所は戦前から生活指導を中心とし、幼児の興味と關心を考え、自主性を重んじて、いわゆる民主的な方法をとつて來ていたので、今更切換える必要はない」とか「幼稚園や保育所は前々から今日の小學校の一、二年のやつてゐるような方法をやつていたので」という聲、又はこれに類する聲を耳にしたものは私だけではあるまい。併しこゝに私たち幼児教育者が警戒しなくてはならない大きなおとし穴がある。というのは方法上の形式が相似してゐるからといつて、前述の結論を出したとすれば甚だ皮相といはねばならない。形式上に大差のないことは認められるとしても、實質的に大きな距りのあることを忘れたり、根本的な思想の點に想到しなかつたとすれば、それはすべての保育活動を誤らせる結果になる。私たちは今日決して安易な氣持になつたり、いゝ氣持になつたりしては大變である。お互にきびしく反省しても反省しすぎることはない、幼児教育を教育全體との關連において、社會全般との關連において十分に反省して出發したいと思う。

### 種々多様な個性の理解とその能力の獲得

こゝで私の言いたいことは「それぞれの子供を、それぞれの個性に従つてよく知る」ということ、それを知るための

能力として「子供の心理發達」を十分に研究することである。わかりきつたことを大仰に言つて不愉快な思ひを起させるかもしれないが、これは言うは易く實行は決して容易ではないが故に大仰に言うのである。個性を無視した、無視しないまでも不用意に行われるいゝゆる一齊保育式の方法が今日尙行われてゐると思われない。併し個々の個性が十分に把握せられて、その上に即應した保育が行われてゐるかどうか。程度の開きは相當にあらう。その線に努力は拂われてゐるであらう。しかし個性を知り子供を理解するための基礎的能力が得られてゐるか。子供の發達に關する心理的知識が勉強せられてゐるかの問題になると、必ずしも十分といふことは出來ない。時間的餘裕のない程保育の實際に毎日を送つてゐる幼稚園や保育所の先生方に對して、心理學の勉強が足りない、子供の觀察と理解が足りないといふのは、苛酷のように思われるかもしれないが、こゝでは自己反省による再出發の切換時であることを考えれば苦しくともお互が頑張つて努めなくてはなるまい。時間の餘裕がなかつたら、毎日の保育の計畫や、これに附隨する事務處理の方面を能率化し、合理化するための再検討も必要な場合があるだらう。あるいは研究會の持ち方や、研究の方法等についても工夫を要する場合もあらうと思ふ。何れにしても「子供をよく知る」ことなくして幼児指導の效果は擧げられない。「心理學の知識」なくしては子供をよく知ることができない。苦しくともお互いに努めたいと思ふ。

## 計畫性のある保育實踐

今迄の幼稚園や保育所に計畫性がなかつたとは言われないが、時には保育の實際に追われて計畫を練る時間がないために、やむを得ず計畫のない幾日かがあつたり、いわゆる行きあたりばつたりの保育實踐が行われていたりしたが、絶無だつたと言ひ切ることのできない悲しい事實がありはしなかつたか。——これが原因や理由については薄情のようだが今はふれない。——若しあつたとすれば昨日まで許されたとしても明日からは許されないとと思う。計畫のない教育は學校教育ではない。従つて計畫のない保育は幼稚園や保育所の幼児教育ではあり得ないのである。

従來幼稚園や保育所においては比較的計畫が立てにくい事情にあつたかもしれないが、すべての保育活動にはすべて計畫をもつていきたい。保育の効果を擧げるか擧げないかは既に計畫のたて方において決定してるとさえ考えられる。用意周到な計畫をたてることは保育効果を擧げ得るばかりでなく保育の能率をもあげることになる。計畫を立てることを面倒がるようでは眞の幼児指導者というわけにはいかない。

### 特に教育計畫（カリキュラム）の設定

前項には運営の全般に計畫性を要求したのであるが、特に重複のきらいはあるけれども教育計畫についても、お互いが十二分の關心を持ちたい。新しい教師とカリキュラムの關係については特に書き立てる必要はない程、全國の先生方が熱

心に研究し實踐している。たゞ私の言いたいことは、どんなに立派なカリキュラムが出来ても、それが實踐とのつながりのないものであつては何の價値もないという平凡なことである。あえて平凡なことを書き立てる理由は、現實において「カリキュラムは一應つくつて見ましたが、實際はその通りやつているわけではありません」という話をきき、事實を耳にすることが相當にあるからである。貧しくとも毎日の保育實踐に活用される計畫であり、その計畫が實踐を通して常に改められてゆく、計畫と實踐とが密着したものでなくてはならないと私は信じている。どこかで出来た計畫をそのまま、或は多少補正して一應作つておく式のカリキュラムだつたら無駄な努力と言われても仕方あるまい。子供の生活を中心に環境を考え、地域社會を考慮して、眞に活用の出来る計畫をたて、實踐に努力しよう。

### 保育効果の判定と實踐記録

實踐記録の中には當然効果の判定も含まれて来るが、従來幼稚園、保育所で、保育實踐の熱意と努力に比べて劣つていたものはこの實踐記録ではなかつただろうか。

効果判定が常に計畫の反省と新しい計畫への資料となり、子供の個別的な指導の一つのよりどころになると同様に、實踐記録もまた保育全般の明日へのよき資料となる。この意味で私は實踐記録を非常に重要視し、非常に尊重したい。これも時間的に中々容易でないという聲の出ることは承知してい

るが、何とか時間の工夫をして丹念に日々の記録を纏めこれを次の計畫に活用していきたいものである。

### 教師自身の社會性と教養

又してもわかりきつたことに及んで恐縮であるが、幼稚園や保育所の先生は殆ど大部分が女性であり、しかも若い人たちが多い。従つて幼稚園や保育所は對象となる子供が小さいこと、相俟つて、何か社會から遠ざかつた別天地のような考え方が、社會一般にもあり、先生方自身もそう思つているものがないでもない。これではいけない。子供は常に社會の子供である。幼稚園や保育所も一つの社會である。子供達に社會性をもたせ、社會的協調性を指導しようとする。保育機關において、その指導者である先生はまず自分自身も社會人ではなくてはならない。社會と没交渉であることを是認しているような態度ではいけない。それには、政治も經濟も文化も一通りは心得ているだけの教養を積むことを忘れてはならない。これは新しい教師として大切な素養であることを十分認識して、機會ある毎に自己研修を重ねて行きたい。スポーツも、映畫も、一通りは心得ていたい。綜合雜誌の一、二冊には目を通したい。幼稚園も保育所も決して別世界ではなく、社會生活の出発点であり、社會の中の社會なのである。先生方が若い故に社會から孤立であつていゝ筈はなく、社會に無關心であつてよいわけではない。まず自らを社會人としての教養と見識をもつように努めたいものである。

(4)

私は最初にも言つたように、私のメモの中から色々と雜然と書きつらねて來たが、紙面の都合でもうやめなくてはならない。まだ新しい教師として擧げたい幾つかの項目が考えられるが、最後に、幼稚園、保育所と小學校との關連について述べたい。從來——今日でも——幼稚園保育所の先生方からは「保育効果が小學校に入學してこわされてしまふ」という聲をよく聞かされ、小學校の先生方からは「幼稚園や保育所から來た子供は落つきがなくて取扱いにくゝて困る」という聲をかかされる。どちらの聲が眞實であるかはしばらくおくとして、こゝに大きな問題のあることは明らかである。幼児（幼稚園、保育所の子供）と小學校一、二年の子供との關連の問題が残されている。今後この問題については關係者によつて十分研究してもらいたい。たゞ新しい先生としては小學校の教育の學習の實際を見たり、小學校低學年の教科書に一通り目を通したりして、幼稚園から大學まで一貫した教育計畫のうちの一環としての幼稚園を考え、小學校を考え、更にこの兩者の關連について常に關心をもつようにしたいものである。勿論小學校低學年の先生が、幼稚園や保育所の保育の實際を參觀し、理解してもらふことも大切であるがこゝにはふれない。

お互いに研修して新しい教師として幼児の指導に専念することを念願してやまない。